

〇〇〇〇年度卒業論文

へたれテンプレート

〇〇〇〇年〇月

東京理科大学理工学部機械工学科

〇〇研究室

75***** 機械 工作

目次

1.	緒言	1
1.1	へたれテンプレートとは？	1
2.	基本的な使い方	2
2.1	PDF ファイル作成方法	2
2.2	コメントアウト	2
2.3	段落	2
2.4	箇条書き	2
2.5	図と表	2
2.6	数式	3
2.7	文献の引用	3
	謝辞	4
	文献	5

1. 緒言

1.1 ヘたれテンプレートとは？

へたれテンプレートとは，初心者が熟練者に成長する過程でぐちゃぐちゃに改変される土台となるテンプレートです．へたれテンプレートがどれだけぐちゃぐちゃに改変されたかを見ると，あなたがどれだけ $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ に習熟したかがわかります．

2. 基本的な使い方

2.1 PDF ファイル作成方法

このへたれテンプレートには Makefile が付属するので

`% make`

で PDF ファイルを作成できます。

2.2 コメントアウト

`%` 以降はコメントアウトされます。

2.3 段落

空行を入れると改段落されます。空行を入れると改段落されます。空行を入れると改段落されます。空行を入れると改段落されます。空行を入れると改段落されます。空行を入れると改段落されます。空行を入れると改段落されます。空行を入れると改段落されます。

改段落したくない場所には空行を入れないようにしましょう。改段落したくない場所には空行を入れないようにしましょう。改段落したくない場所には空行を入れないようにしましょう。改段落したくない場所には空行を入れないようにしましょう。改段落したくない場所には空行を入れないようにしましょう。

2.4 箇条書き

箇条書きです。

- 有限要素法
- 有限差分法
- 有限体積法

番号の箇条書きです。

1. 有限要素法
2. 有限差分法
3. 有限体積法

2.5 図と表

図 2.1 に図を示します。表 2.1 に表を示します。図表はページの上部や下部の適当な位置に自動的に配置されます。label コマンドと ref コマンドを用いることで図表番号が自動的に対応します。

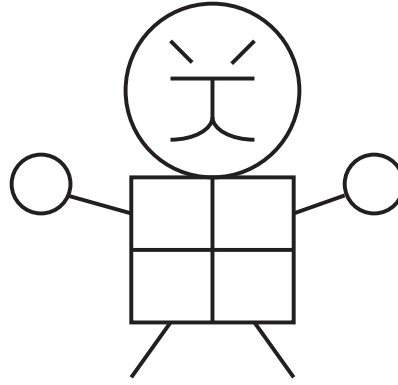


Fig. 2.1 Okadaken-kun. He is a mascot of Okada Lab.

Table 2.1 Young's modulus and Poisson's ratio.

Young's modulus (GPa)	210
Poisson's ratio	0.3

2.6 数式

数式は

$$f = -ku \quad (2.1)$$

のように記します。複数の数式は

$$f_1 = -ku_1 \quad (2.2)$$

$$f_2 = -ku_2 \quad (2.3)$$

のように記します。本文中の数式は f や $f = -ku$ のように記します。

label コマンドを付けて

$$f = m \frac{d^2 u}{dt^2} \quad (2.4)$$

のように記すと，ref コマンドで式 (2.4) のように参照できます。

2.7 文献の引用

〇〇の研究 (Okada et al., 1988) のように引用します。Okada et al. (1988) は〇〇を研究したという書き方の引用もできます。日本語の場合は，〇〇の研究 (岡田他, 1998) のように引用します。岡田他 (1998) は〇〇を研究したという書き方の引用もできます。

謝辞

L^AT_EX への謝意を表する.

文献

- Okada, H., Rajiyah, H. and Atluri, S. N., Some recent developments in finite-strain elastoplasticity using the field-boundary element method, *Computers & Structures*, Vol. 30, No. 1–2 (1988), pp. 275–288.
- 岡田裕, 福井泰好, 熊澤典良, 丸山拓也, 大変形弾塑性材料の均質化法による解析 (第 1 報: 周期性の仮定を厳密に満足するための定式化), *日本機械学会論文集 A 編*, Vol. 64, No. 618 (1998), pp. 450–456.